



# ただいま の いただきます

作・演出／河野真理子

美術協力／水野政雄

道具製作協力／下茂俊幸

制作／西川典之



川尻晴菜



榎田大介

## 出演者



井野口祥平

## おはなし

4歳のちーちゃんは今日も元気よく外へ遊びに行きます。

「いってきま〜す！！」

どんぐり拾いにダンゴムシ集め、葉っぱでお面をつくったり…するとそこへ何かが飛んできた。

「わあ、おっきいまつぼっくり！」

「…ぼくは…ちちり…ん」

「あなた、話せるの?!」

それは、喋る松ぼっくりだったのです。

「ぼく、お母さんにいってきます言うの忘れちゃった。」

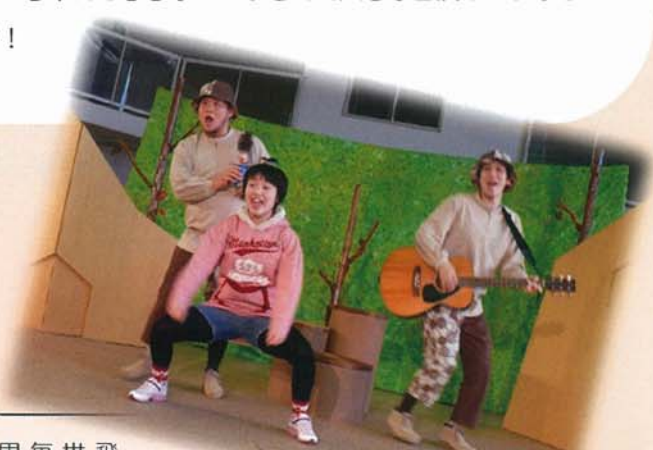
「ええ!!ちーちゃんはいつもおもいきりいってきますーす!

って言うよ!そしたらお母さんもおもいきり、いってらっしゃーい!って言うの。それから帰ってきたら、ただいまーって言うの。そしたらお母さん、おっかえりーって言うよ。」

「いいな…ぼく、最後のいってきますだったのに…」

「よし!!じゃあ、ちちりんのお母さんにただいまといってきますを言いに行こう! しゅっぱーつ!!」

はてさて。ちーちゃんとちちりんの小さくて大きな冒険はどうなるのでしょうか?!



## 制作にあたって

子どもたちは毎朝「いってきますーす」と家から外へと飛び立っていきます。少しの不安と緊張を胸に、新しい世界へ足を踏み出していくのです。4歳のちーちゃんも毎日「いってきますーす」と元気に家をとび出し、外の世界で様々な出会いと発見をし、あくなき挑戦を続ける、ちょっと難しいことへの挑戦にも夢中になっていく女の子です。そして、そんなちーちゃんには「ただいまー」と帰ってきたら「おかえりなさい」と受け止め、また「いってらっしゃい」と送り出してくれる人がいるのです。

人は誰でも、心の中が安心や信頼や自信でいっぱいにならないと、本当のやさしさ、勇気、元氣、そして豊かな表現力(人間力)は培われていきかないのではないのでしょうか。子どもの願いを理解し、励まし、しかってくれる存在があって初めて、冒険の旅にとび出す事が出来るのだと思います。

自分の背丈ほどもある草むらに埋もれ、ぬかるみにはまって靴を泥んこにし、とげに刺されながら野いちごを摘み、にわか雨に降られてびしょびしょになったり、転がるダンゴムシを夢中で眺めたりしている時間は、きつと人間の土台づくりのためのかけがえのない時間です。だから、子どもたちが思う存分冒険の旅に出るために、「いってらっしゃい!」と元気に送り出せる芝居、安心や信頼や自信のたくさん詰まった作品を届けたいと思います。観終わった子どもたちが元氣よく「いってきますーす!」と外に飛び出してくれたら…そんな事を思いながら、今日も私たちは冒険の旅という名の近所へのお散歩に出かけます。

西川典之



## 劇団風の子中部

〒500-8241 岐阜県岐阜市領下 21-16  
電話：058-215-7780 FAX：058-215-7781  
E-mail：tokai@kazenoko.co.jp

## 劇団風の子

〒192-0152 東京都八王子市美山町 1320-1  
電話：042-652-1001 FAX：042-652-1013  
E-mail：all@kazenoko.co.jp  
URL：http://www.kazenoko.co.jp